

様式6

平成 年 月 日

三重県知事 鈴木英敬 様

三重県新しい公共支援事業運営委員会委員長
岩崎 恭典 印

新しい公共支援事業の評価結果報告について (案)

新しい公共支援事業の評価結果報告 (平成24年度 上半期) を別紙の通り提出する。

【様式6】

別紙

運営委員会による評価結果報告（平成24年度 上半期）

各事業の平成24年度上半期実施事業について、受託団体等からの実績報告書、県からの実績報告書等について、運営委員会で検証した結果について、下記のとおり報告します。

1 新しい公共推進指針（仮称）策定事業

（受託団体）

- ・特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター

現在、中間案まで策定しているが、県内8地域での地域円卓会議で地域の各主体が議論すると共に、県民の意見を聴くためにパブリックコメントを実施している。そのほかに、行政やNPOなどの意見も聴いている。このようにさまざまな地域や分野の方々の意見を集約してきており、それらをもとに県版の円卓会議で議論されることから、最終的には、新しい公共の考え方をもとにしたすべての要素が入った集大成的なものができ、県民としても使い勝手の良いものになるのではないかと期待される。

但し、あまりにも多くの主体が関係し、あらゆる要素が入っているため、すべてにウエイトを分散させているので、総花的になりすぎるきらいがあるのではと思われる。最終案までに、どこが最も重要なポイントかというところをある程度明確にしておくべきではと考える。

2 新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業

（受託団体）

（主な実施地域）

- | | |
|----------------------------|---------|
| ・特定非営利活動法人 みえきた活動センター | （桑名員弁） |
| ・四日市NPOセクター会議 | （四日市） |
| ・特定非営利活動法人 市民ネットワークすずかのぶどう | （鈴鹿・亀山） |
| ・特定非営利活動法人 津市NPOサポートセンター | （津） |
| ・特定非営利活動法人 Mブリッジ ① | （松阪） |
| ・特定非営利活動法人 Mブリッジ ② | （松阪） |
| ・特定非営利活動法人 いせコンビニネット | （南勢志摩） |
| ・特定非営利活動法人 なばりNPOセンター | （伊賀） |
| ・東紀州コミュニティデザイン | （東紀州） |

資源循環の基盤づくり事業は、地域別に事業を展開しているが、平成23年度は、ベースを固める取組が多かったことから、地域によりベースの状況が違うため、事業の進捗状況に差が出てきていた。

平成24年度上半期は、当初計画に応じて実際の事業を展開しており、これまでの取組ではなかなかできなかったような事業展開がなされており、一定の成果が出ている。しかし、地域の事情やさまざまな障害等により、当初の計画どおり進んでいない取組もあり、平成24年度末までに、立て直しをしたうえで、たとえ少し形は変わったとしても、基本的には当初の目的を達成してもらいたい。そのうえで、新しい公共支援事業終了後も、各地域において継続した活動に繋げていけるような基盤を構築していただきたい。

3 三重県NPO法人活動実態調査事業（平成23年度事業。報告済み分再掲）
（受託団体）

- ・特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター

アンケートに対し約80%という高い回答率が得られたことは画期的であり、各地域の中間支援団体が直接訪問しての調査を基本にした結果であると評価できる。但し、これは法人格を持ったNPOのみの調査であるので、市民活動団体すべての状況を把握することができないのは言うまでもないが、各地域・各分野を調査したことから、市民活動の全般的な傾向はある程度知ることができたと考えられる。

この事業での成果物（NPO活動実態報告書）を、今後、推進指針の策定や各地域のNPO活動・市民活動の支援等に生かしていってほしい。

4 NPO法人の条例指定制度に関する検討事業（平成23年度事業。報告済み分再掲）
※県が直接実施事業

この事業の検討委員会により基準案ができたことから、現在は、導入に関して市町と協議中。できるだけ早期の導入を期待したい。